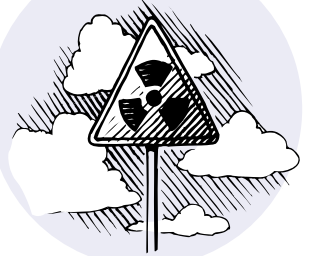


内部被曝を考える シンポジウム

2012年5月23日(水), 13:00~
於: 福島大学 L4 教室

参加自由、申込不要



第1部 パネルディスカッション

「内部被曝を考える」(13:00~15:00)

★パネリスト

矢ヶ崎 克馬(琉球大学名誉教授)

守田 敏也(ジャーナリスト)

塩谷 弘康(福島大学)

後藤 忍(福島大学)

被曝の問題について、
一緒に考えてみませんか？

- ◆ 低線量被曝の健康影響については専門家のあいだでも意見が異なっていますが、福島大学の取り組みは適切でしょうか？
- ◆ 内部被曝の危険性について、どれだけ知っていますか？
- ◆ 内部被曝から身を守るための支援は、十分だと思われますか？

第2部 討論会

「福島大学における学生生活環境を考える」

(15:15 ~ 16:45)

どなたでも参加できます。
特に、学生や保護者の方の
参加をお待ちしています。

主催: 福島大学放射線副読本研究会, 福島大学行政政策学類

パネリストご紹介

★福島大学

〒960-1296 福島市金谷川1

JR東北本線 金谷川駅から徒歩8分
(福島駅から郡山方面へ2つ目の駅)

★お問い合わせ先

メール: arakida@ads.fukushima-u.ac.jp
電話/Fax: 024-548-8305

荒木田(あらきだ)

(留守の際は、メッセージを入れていただければ折り返しご連絡します)

矢ヶ崎 克馬 氏

理学博士。琉球大学理学部教授を経て、現在は琉球大学名誉教授。2003年より、原爆症認定集団訴訟で「内部被曝」について証言をする。東日本大震災以後は、福島ほか、全国各地で講演をしている。著書に『隠された被曝』(新日本出版社)、『力学入門(6版)』(裳華房)などがある。

守田 敏也 氏

同志社大学社会的共通資本研究センター客員フェローなどを経て、フリーライターとして取材活動を続け、社会的共通資本に関する研究を進めている。ナラ枯れ問題に深く関わり、京都の大文字山などで害虫防除も実施。東日本大震災以後は、関西をはじめ東北・関東でも取材・講演を続けている。